

事業所名		こどもと家族の育ちサポート スコレー				支援プログラム		作成日		2026 年		1 月		30 日	
法人（事業所）理念		躓き体験の多い子ども達に対し、それぞれの特性に合わせた支援を行う中で、本来の力を発揮し自己肯定感や自己効力感を育んでいくことを目指します。保護者等子どもに関わる大人達が子どもへの理解を深め、より良い関係性を築いていくことをサポートします。													
支援方針		一人一人に合わせた個別支援を基本とし、必要に応じて小集団でのSSTなども行います。また、不登校児支援も行います。 ○お子さま一人一人に合わせた学習支援 自分に合ったやり方が分かり学が意欲が高まるように、また本来の力を発揮しながら自ら工夫し学び続けられるように支援します。 ○社会性をはぐくむ生活支援 適切なコミュニケーションの方法、時間の管理、社会のルールやマナーなど、生活していく上で必要な社会性が育めるよう、SST・遊び・対話などを通して支援を行います。 ○不登校や学校で悩むお子さまのサポート 不登校で悩むお子さまの支援を行います。学校に行きづらくなったお子さまに対して、安心できる居場所を提供するとともに、一人一人に合った学習内容や方法、過ごし方をともに考え、お子さまとご家族に寄り添ったサポートをします。													
営業時間		9 時		0 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	一人一人の発達レベルや特性を理解したうえで、本人に必要な生活スキルの獲得・向上をめざして支援します。 ・生活リズムが安定するようサポートします。 ・片づけなどを習慣化し、自分で身の回りの生活の場を整えられるように促します。 ・身だしなみを整えるなど、日常生活に必要な行動を自らできるようにサポートします。													
	運動・感覚	一人一人の感覚の特性に配慮しつつ、日常生活や学習活動における本人の負担を軽減し、本人の能力が発揮できるよう支援します。 ・日常生活に必要な動作の改善や習得をめざします。 ・工作や調理などの活動を通し、微細運動への支援を行います。 ・感覚を刺激するような活動を取り入れ、視覚・聴覚・触覚などのさまざまな感覚やその心地よさを体感できるようサポートします。													
	認知・行動	一人一人の認知の特性を踏まえ、学習の支援、状況に合わせた対応力の養成などを行います。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、必要な情報を得て、適切な行動につなげられるようサポートします。 ・学習課題や作業課題を通して、発達段階に応じた数量・大小・形の大きさ・重さ・長さ・物の属性などの習得をめざします。 ・小集団（SST教室など）での活動を通して、集団でのルールや行動を学び、適切な行動ができるようサポートします。													
	言語 コミュニケーション	語彙力や文章理解力の向上をめざしつつ、自分の思いを適切に表現し、他者とのコミュニケーションをスムーズにできるように支援します。 ・言葉・指差し・身振り・絵カード・ICT機器等から本人に合った手段を選択し、自分の意思を伝えられるようサポートします。 ・種々の活動を通して、感情などを表す言葉や日常生活に必要な言葉を知り理解できるよう支援し、他者とのやりとりの機会を増やしていきます。 ・スタッフや他児とのかかわりの中で、相手に自分の意思が伝わる成功体験を積み重ね、伝えたい気持ちや伝わる喜びを感じ、他者とコミュニケーションしたいという意欲を育てます。													
	人間関係 社会性	他者との適切なかかわり方を学び、社会生活に必要なスキルを身につけて適応力を養い、自己肯定感の向上につながるよう支援します。 ・スタッフと安心できる関係性を築くことで、その信頼関係を基盤に、身近な大人や他児に関心を向け、安定した関係を形成するための支援を行います。 ・普段の活動の中で、挨拶・ルール・マナーなどその場に合った行動ができるように促します。 ・通所時の公共交通機関の利用など、自立を見据えた社会生活のためのスキルの習得をめざします。													
家族支援		・適宜、事業所での様子をお伝えしながら、保護者様と共通認識をもって支援に取り組めるよう努めます。年に1～2回程度、事業所にて個別面談を実施します。 ・定期的に、お子さまのご家庭での様子や事業所への要望などの聞き取りを行い、支援計画に反映させていきます。							移行支援		・進級や進学、就労や自立などを見据えて支援を行います。 ・個々のニーズに応じて、学校と連携を図り、支援内容などの情報共有を行います。				
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や利用児が利用する他事業所とも情報共有を行い、積極的に連携を図ります。 ・自立支援協議会のこども部会へ参加し、同じ地域の他事業所と交流を図り、よりよい支援につなげます。							職員の質の向上		・公的な外部の研修（zoom形式を含む）、法人内での勉強会参加、支援に対する意見交換などにより、スタッフの知識と支援の質の向上を図ります。				
主な行事等		・個々の取り組みの中で、調理実習、買い物学習、体験学習、避難訓練等を実施します。													